

鉱物採集後の注意事項

採集した鉱物の保管について

折角拾ってきた鉱物なのですから、汚いままにしておくよりもクリーニングして綺麗に保存しておくことで標本としての価値が上がり、見栄えも良くなります。

持ち帰った鉱物は手入れを欠かさないようにしましょう。

鉱物の汚れを取る

地表に出ている道端に落ちていたりした鉱物は泥や苔などにまみれていて、見た目が悪くなっています。そのため、まず、最初に軽く水洗いしてみましょう。

大きめのボールや洗面器などに張った水の中に鉱物を入れて、表面の泥を落とし、そのあとに古い歯ブラシなどを使って、細かな泥などの付着物を取るようになります。

汚れが取りにくいときは

綿状や針状の鉱物は、汚れてしまうと綺麗にするには困難が伴います。エアスプレーなどで表面の埃を軽く吹き飛ばす程度のことしかしてあげられないので、水などの液体やブラシで無理に洗うのは避けるべきです。無理に洗うと、形状が変化してしまったり、変質してしまったりすることがあります。また鉄さび等で汚れていた場合は、化学薬品を使うことになります。しかし、鉱物によってはそれらの薬品をかけたことにより溶け出してしまうものもあるため、注意が必要です。鉱物の性質や薬品の種類を良く調べてから使うようにしましょう。

記録

鉱物を採集したら、年・月・日付・場所の順にその鉱物についての情報を記録しましょう。

また、鉱物そのものには直接書き込まないようにし、先述の通り包んだ新聞紙に書いたり、ビニール袋に入れてそれに書いたりするようにして、しっかりと記録が残るようにしましょう。

こわれやすい鉱物や小さい鉱物は、ティッシュペーパーなどで包み、メモと共に保管しておくのが良いでしょう。

また、採集した鉱物を鞆に仕舞う時にも注意しましょう。中の道具とぶつかり合って鉱物が壊れてしまうことの無いように、タッパーに入れておくなどして鉱物を保護するのが最適です。

さらに、ノートやメモ帳に採集年月日、場所、標本の番号と採集地の様子などを、できるだけ詳しく記録しておくことも大切です。地図や地形図の上に採集場所を記録しておいたり、デジタルカメラで採集場所を撮影しておくのも、重要な事です。最近のGPS機能が付いたカメラであれば、撮影した場所を正確に記録してくれます。この機能を使えば、鉱物を採集した正確な位置を後で確認することが出来るので非常に便利です。

採集した鉱物を保存するさいはラベルを作成することも忘れないようにしましょう。採集した場所と年月日、採集者名、番号は最低限記入するようにし、わかったなら鉱物の名前も書いておきます。

また、このサイトにある鉱物採集シートにはすでにラベルの見本が載っています。こちらを印刷し、鋏で切り分けて使用するのも良いでしょう。

ラベルと鉱物は一緒に保管するようにし、サイズの合う箱を用意して補完します。大抵の鉱物はそのまま保管しても問題はありませんが、乾燥剤を入れて密封しなければならないものや、水につけておかなければならないものもあり、鉱物の性質を良く調べたうえで環境を整えてあげます。

ラベルがあることで鉱物に標本としての価値が生まれ、また、何処で拾った鉱物なのかすぐにおもいだすことができるようになります。採集した鉱物は早目に整理して記録を付け、保管することが最も望ましい形です。